

平成 21 年度一般会計補正予算説明資料

7 款 商工費

2 項 工鉦業費

2 目 中小企業振興費

産業振興総室 [産学金官連携チーム] (内線: 7 6 6 3)

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源	
(新) とっとりバイ オフロンティア 施設整備事業	0	18,602	18,602	18,602				

【「国 1 次補正 地域活性化・経済危機対策臨時交付金」充当事業】

説明

1 事業の概要

鳥取大学が有する染色体工学技術の研究成果等の実用化・事業化を促進しながら、県内へのバイオ産業集積を図ることを目的として、バイオ技術に係る研究開発や専門技術者の育成等を行う産学官連携拠点「とっとりバイオフロンティア」施設整備に係る設計委託を行う。

2 事業内容

「とっとりバイオフロンティア」施設整備に係る設計委託料 (18,602 千円)

※とっとりバイオフロンティア施設の整備概要 (現時点での想定)

(場 所) 鳥取大学米子キャンパス内 (米子市)

(規模、建設費) 延べ床面積約1,250㎡ (鉄骨造、3階建)  
建設費約4億円程度

※施設内の大型研究設備等については、地域産学官共同研究拠点整備事業 (国の1次補正予算) を活用して整備

(主な施設) 貸し研究室: 入居企業の研究開発  
共通実験室: 機器分析、遺伝子・細胞実験等  
研修室、会議室: 動物実験技術者等の人材育成  
事務室: 施設管理

※動物飼育施設については、鳥取大学の既存施設を利用して整備

※整備スケジュール (予定)

H22.2~ 設計

H22.8~ 工事

H23.4~ オープン

3 背景 (これまでの経緯)

○「都市エリア産学官連携促進事業 (一般型)」を実施し、鳥取大学のヒト人工染色体工学技術を利用したヒト型遺伝子マウスの製作、食品等の機能性評価システムの開発等を行い、地域産業に貢献するバイオに関する産学官連携の基礎を構築。(H18~20年度)

○産学官の関係機関により、とっとりバイオフロンティアを拠点として、新産業創出や県内産業の高付加価値化を目指すための協力・支援・連携を確認する覚書「とっとりバイオフロンティア設置覚書」を締結。(H21.5)

○平成23年4月の開所を目指して、とっとりバイオフロンティア施設の基本計画 (施設規模、設備概要等) を策定。(H21.6)

○とっとりバイオフロンティア施設における研究設備等の整備財源として、地域産学官共同研究拠点整備事業 (文部科学省・JST事業) に採択 (採択額9億円)。(H21.12)